

## 08 溶融亜鉛めっき業と持続可能な建築—欧州における経験、成果および将来へのアクション

Murray Cook, Executive Director, European General Galvanizers Association

本論文では持続可能な環境実現に最も関連が深いバッチ式亜鉛めっき業の状況を確認するために欧州の亜鉛めっき業界が‘グリーン建築’社会とどのように係わってきたかを報告する。これらの状況を業界の市場開拓努力の大きい流れに蓄積してきたことは、古い固定的な工業プロセスと認識されていた側面を新鮮なものに変えるのに非常に効果的であった。これらの市場開拓努力について、どのようにして鍵となるメッセージがEGGAのレベルおよびヨーロッパを通じて各国に伝えられたかを報告する。

論文ではまたどのようにして情報面でのギャップが明らかとなり埋められたか、特に欧州における溶融亜鉛めっき業の環境面での成果を部門別環境製品宣言（Environmental product declaration[EPD]）を通じて明確にしたことについても述べる。亜鉛めっき代替品と比較してのLCA（ライフサイクル・アセスメント）もいくつか報告し、複雑な環境関係の情報に関して発注者や仕様決定者と交換することについても報告する。

欧州委員会（CEN）の建築物の環境影響評価に関する規準の進捗状況およびEPDは、建設資材供給者にとっての主要関心事である。これらの規準についての検討、亜鉛めっきの主たる強みである耐久性とリサイクル性が規準のドラフトの中に反映されるよう努力している状況を述べる。